

# 知識と技術蓄え新たな一歩



福本校長から卒業証書を受け取る卒業生(右) = 7日、倉吉市の鳥取県立農業大学校

## 県立農業大学校で卒業式

倉吉市の鳥取県立農業大学校(福本由美校長)の卒業式が7日、同校で行われ、農業の知識と技術を学んだ養成課程農業経営学科の14人が新たな一歩を踏み出した。

式で、福本校長は新型コロナウイルス禍での行動制限に触れた上で「しっかりと経験を

積み、知識を蓄えていく姿が頼もしかった。培った経験を生かし、責任ある行動をする社会人となってほしい」とはなむけの言葉を送った。

在校生を代表し、畜産コ

ースの有福翔和さん(18)が「先輩たちが残した財産をしっかりと受け継いでい

く」と送辞を述べた。卒業生を代表して畜産コースの森口楽さん(20)は学校生活を振り返り、「数々の思い出がよみがえる。今後は自主性を持ち、さらなる未来を切り開いていくことを誓う」と決意表明した。

卒業生は果樹、野菜、作物、畜産の各コースで、2年間にわたって専門的な勉強をしてきた。卒業後は農業法人や企業・団体、親元での就農など、ほとんどが農業関係の道へと進む。

(前田雅博)